

平成20年度 広島市立広島特別支援学校 第3回学校協力者会議概要

1 日 時 平成21年2月27日(金) 15:15~16:45

2 場 所 校長室

3 内 容

(1) 学校長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 学校長より近況報告

(4) 議事

① 学校経営計画について

- 学校の目標がよく整理されている。
- 学校経営計画の目標が多すぎ、教職員一人ひとりが目標を意識することが難しいと思う。
来年は重点化するというので、この項目をどうがんばれがよいかを決めて行ったらよい。
- 教職員アンケートで成果指標をとるのは妥当であろうか？努力指標に数値を入れるなど学校基準に応じたものでよいのでは。
- 目標にはなじむものとなじまないものがある。
- 研修体制の充実については日々の指導に活かすところまでやっていただけたらと思う。自閉症の取組等、高いレベルで取り組んでいる先生も多くいると思うが、個人のレベルになっている。学校全体の指導となっていけばと思う。
- よくがんばられている。ただ専門性にかかわっては自分がんばるんだという意識をもつことが大切。
- 開かれた学校とは、作品展示を含め児童・生徒が様々な形で校外に出て行くのも開かれた学校だと思う。
- webはエネルギーをかけてもそれほどの効果は期待できない。誰に対して作っているのかを考え、必要最小限のものでよいと思う。

② その他

- 専門性の高い教員は育てるまでに時間がかかる。現状はシステム的な要因があるかもしれない。
- 先生だけに負担をかけるのではなく社会人の活用のシステムを作ることも必要であろう。ボランティアを公募する方法もあるのではないかと思う。
- 作業所では他の作業所と1ヶ月ごとに交流システムを作っている。学校との間でもできないか？高等部と作業所の職員の体験交流を1週間程度できればお互いに得るところは大きいのではないだろうか。
- 個別の指導計画や通知表等、書式の検討が必要ではないだろうか。

(5) 委員長あいさつ